

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【公開番号】特開2002-7042(P2002-7042A)

【公開日】平成14年1月11日(2002.1.11)

【出願番号】特願2000-181647(P2000-181647)

【国際特許分類】

G 06 F 3/023 (2006.01)

H 03 M 11/04 (2006.01)

G 06 F 3/02 (2006.01)

G 06 F 3/16 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/023 3 1 0 H

G 06 F 3/02 E

G 06 F 3/16 3 2 0 H

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月26日(2007.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】複数のキーを有し、キーの押下又はキータッチによって文字、数字又は記号の入力を行う入力部と、前記入力部のキーに加わる操作圧力を検知する圧力検知部と、キー操作の圧力レベルに応じて可変させる文字タイプの設定情報を予め記憶しておく記憶部と、キー操作により入力された文字コードを、前記圧力検知部の検知結果及び前記記憶部の設定情報に従って所定の文字タイプのコードに変換して出力する変換部と、を備えたことを特徴とする情報入力装置。

【請求項2】複数のキーを有し、キーの押下又はキータッチによって文字、数字又は記号の入力を行う入力部と、前記入力部のキーの押下継続時間又はキータッチ継続時間を測定する操作継続時間測定部と、キー操作の操作継続時間の長さに応じて可変させる文字タイプの設定情報を記憶しておく記憶部と、キー操作により入力された文字コードを、前記操作継続時間測定部の測定結果及び前記記憶部の設定情報に従って所定の文字タイプのコードに変換して出力する変換部と、を備えたことを特徴とする情報入力装置。

【請求項3】マイクロフォンを有し、前記マイクロフォンから入力される音声を認識して当該音声内容に相当する文字情報に変換する音声入力部と、前記マイクロフォンから入力される声の音圧を検知する音圧検知部と、音声入力時の音圧レベルに応じて可変させる文字タイプの設定情報を記憶しておく記憶部と、音声入力部から入力された音声内容を示す文字情報を、前記音圧検知部の検知結果及び前記記憶部の設定情報に従って所定の文字タイプのコードに変換して出力する変換部と、を備えたことを特徴とする情報入力装置。

【請求項4】前記圧力検知部は、前記入力部の特定のキーに加わる操作圧力を検知することを特徴とする請求項1に記載の情報入力装置。

【請求項5】前記操作継続時間測定部は、前記入力部の特定のキーの押下継続時間又はキータッチ継続時間を測定することを特徴とする請求項2に記載の情報入力装置。

【請求項6】前記特定のキーは仮名／漢字変換キーを含むことを特徴とする請求項4または5に記載の情報入力装置。

【請求項7】前記記憶部の設定情報をユーザに予め選択させる選択部をさらに備えること

を特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の情報入力装置。

【請求項 8】複数のキーを有し、キーの押下又はキータッチによって文字、数字又は記号の入力をを行う入力部と、記憶部とを備える情報入力装置における情報入力方法であって、キー操作の圧力レベルに応じて可変させる文字タイプの設定情報を予め前記記憶部に記憶しておくステップと、前記入力部のキーに加わる操作圧力を検知するステップと、キー操作により入力された文字コードを、前記圧力の検知結果及び前記記憶部の設定情報に従つて所定の文字タイプのコードに変換して出力するステップと、を含むことを特徴とする情報入力方法。

【請求項 9】複数のキーを有し、キーの押下又はキータッチによって文字、数字又は記号の入力をを行う入力部と、記憶部とを備える情報入力装置における情報入力方法であって、キー操作の操作継続時間の長さに応じて可変させる文字タイプの設定情報を前記記憶部に記憶しておくステップと、前記入力部のキーの押下継続時間又はキータッチ継続時間を測定するステップと、キー操作により入力された文字コードを、前記キーの押下継続時間又はキータッチ継続時間の測定結果及び前記記憶部の設定情報に従つて所定の文字タイプのコードに変換して出力するステップと、を含むことを特徴とする情報入力方法。

【請求項 10】マイクロフォンを有し、前記マイクロフォンから入力される音声を認識して当該音声内容に相当する文字情報に変換する音声入力部と、記憶部とを備える情報入力装置における情報入力方法であって、音声入力時の音圧レベルに応じて可変させる文字タイプの設定情報を前記記憶部に記憶しておくステップと、前記マイクロフォンから入力される声の音圧を検知するステップと、音声入力部から入力された音声内容を示す文字情報を、前記声の音圧の検知結果及び前記記憶部の設定情報に従つて所定の文字タイプのコードに変換して出力するステップと、を含むことを特徴とする情報入力方法。

【請求項 11】前記入力部の特定のキーに加わる操作圧力が検知されることを特徴とする請求項 8 に記載の情報入力方法。

【請求項 12】前記入力部の特定のキーの押下継続時間又はキータッチ継続時間が測定されることを特徴とする請求項 9 に記載の情報入力方法。

【請求項 13】前記特定のキーは仮名／漢字変換キーを含むことを特徴とする請求項 11 または 12 に記載の情報入力方法。

【請求項 14】前記記憶部の設定情報をユーザに予め選択させるステップをさらに含むことを特徴とする請求項 8 ~ 13 のいずれかに記載の情報入力方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報入力装置及び情報入力方法